

**製品名: COX6c ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09279**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	32kDa

**抗原情報**

遺伝子名	COX6C
別名	COX6C; Cytochrome c oxidase subunit 6C; Cytochrome c oxidase polypeptide VIc
遺伝子 ID	1345.0
SwissProt ID	P09669
免疫原	抗血清はヒト COX6C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

**背景**

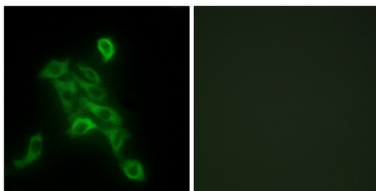
ミトコンドリア呼吸鎖の終末酵素であるシトクロム c 酸化酵素は、還元されたシトクロム c から酸素への電子伝達を触媒する。本酵素は、ミトコンドリア遺伝子によってコードされる 3つの触媒サブユニットと、核遺伝子によってコードされる複数の構造サブユニッ

トからなるヘテロ多量体複合体である。ミトコンドリア遺伝子によってコードされるサブユニットは電子伝達に機能し、核遺伝子によってコードされるサブユニットは複合体の調節と構築に関与している可能性がある。この核遺伝子は、マウスのサブユニット VIc と 77%のアミノ酸配列同一性を有するサブユニット VIc をコードしている。この遺伝子は前立腺癌細胞で発現が上昇している。染色体 16p12 に偽遺伝子が見つかった。 [RefSeq 提供、2010 年 7 月],機能:このタンパク質は、ミトコンドリア電子伝達系の末端酸化酵素であるシトクロム c 酸化酵素の核コード化ポリペプチド鎖の 1 つです。類似性:シトクロム c 酸化酵素サブユニット 6c ファミリーに属します。、

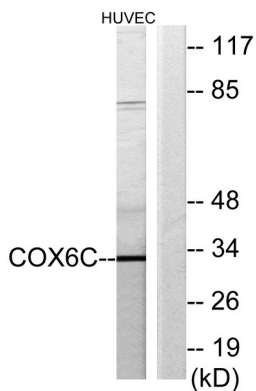
## 研究分野

酸化的リン酸化、心筋収縮、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

## 画像データ



COX6C 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



COX6C 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



COX6c ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析